

個別事例調書「ぐんまの風景を魅せるインフラ整備」(スキルアップチャレンジ)

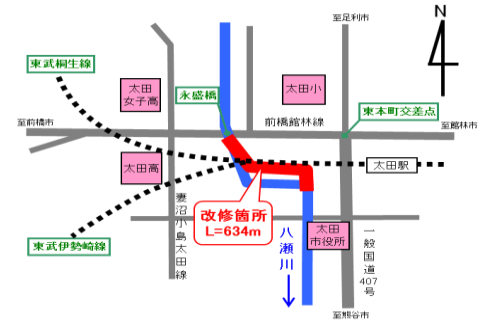
区分
河川

R7年度完成	事業名：一級河川八瀬川(中流工区)河川改修事業
--------	-------------------------

所属・係名	太田土木事務所・工務第一係
-------	---------------

1. 事業概要

【河川名】一級河川 八瀬川  
 【箇所】太田市本町地先  
 【概要】河川改修 L=634m  
 (一)八瀬川は、太田市強戸町を起点とし、最下流で(一)石田川に合流する延長約12kmの一級河川である。  
 このうち本町工区は、(主)前橋館林線から太田市役所の間を改修し、市街地の水害被害を軽減する役割が期待されている。



2. 現場の特徴【ステップ1】

- ・太田市の中心部に位置し、周辺は医療機関及び住宅等が多く存在している。
- ・(主)前橋館林線や東武鉄道の高架線に隣接し、主要な交通路に囲まれている。

3. 事業目的【ステップ2】

- ①現場から何をさせるのか  
 太田市の名山「金山」を見せる。  
 土地区画整理事業に伴い整備された「まちなみ」を見せる。
- ②どこから見せるのか  
 河川沿いの市道利用者(歩行者、自転車、自動車)から見せる。
- ③目指すべき目標像  
 太田市施行の土地区画整理事業による「まちなみ景観」と調和した河川護岸の整備。  
 近隣住民が河川脇を散策し、憩いの場として感じる河川空間の確保。

4. 配慮内容【ステップ3】<完成(整備前後の写真やコメント等)、計画済・計画中(想定される内容)>

- 土地区画整理地内の河道を緩やかにすることで、周辺のまちなみ及び道路等に圧迫感を与えない線形とする。
- 金山及びまちなみの視認性を悪くする河川占用物件を、できる限り減らす。
- 周囲の景観に調和した転落防止柵色を選定する。(河川付属物の色に配慮)

整備前

整備後

